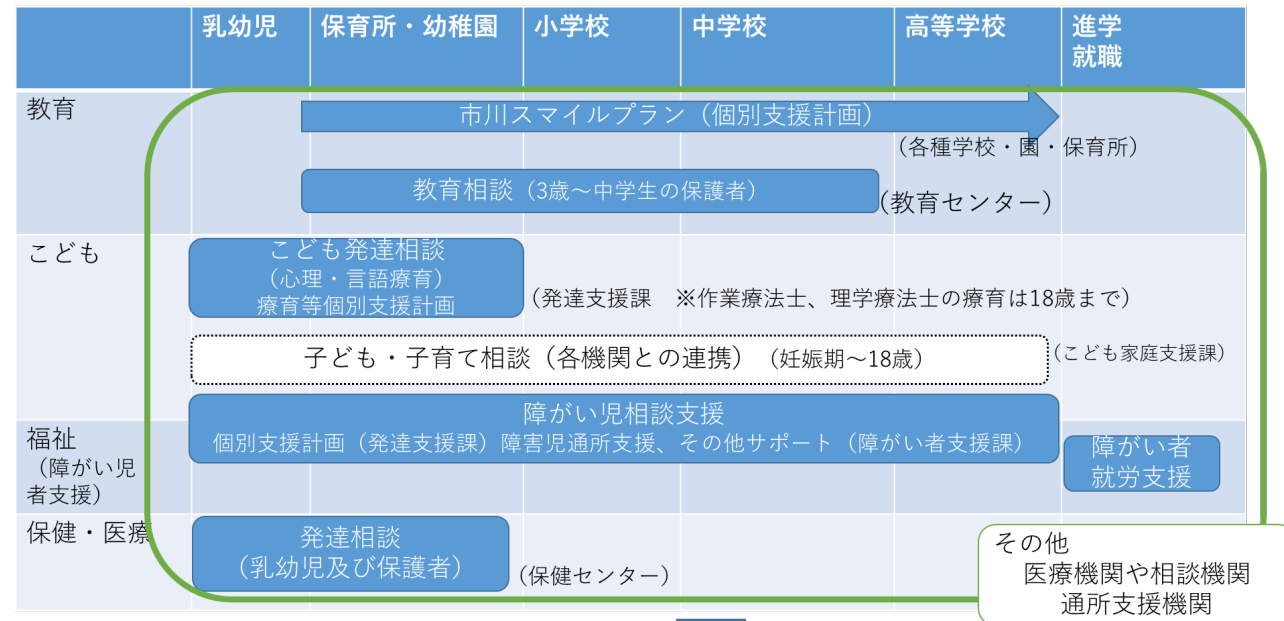


特別な支援を要する子どもへの切れ目のない支援

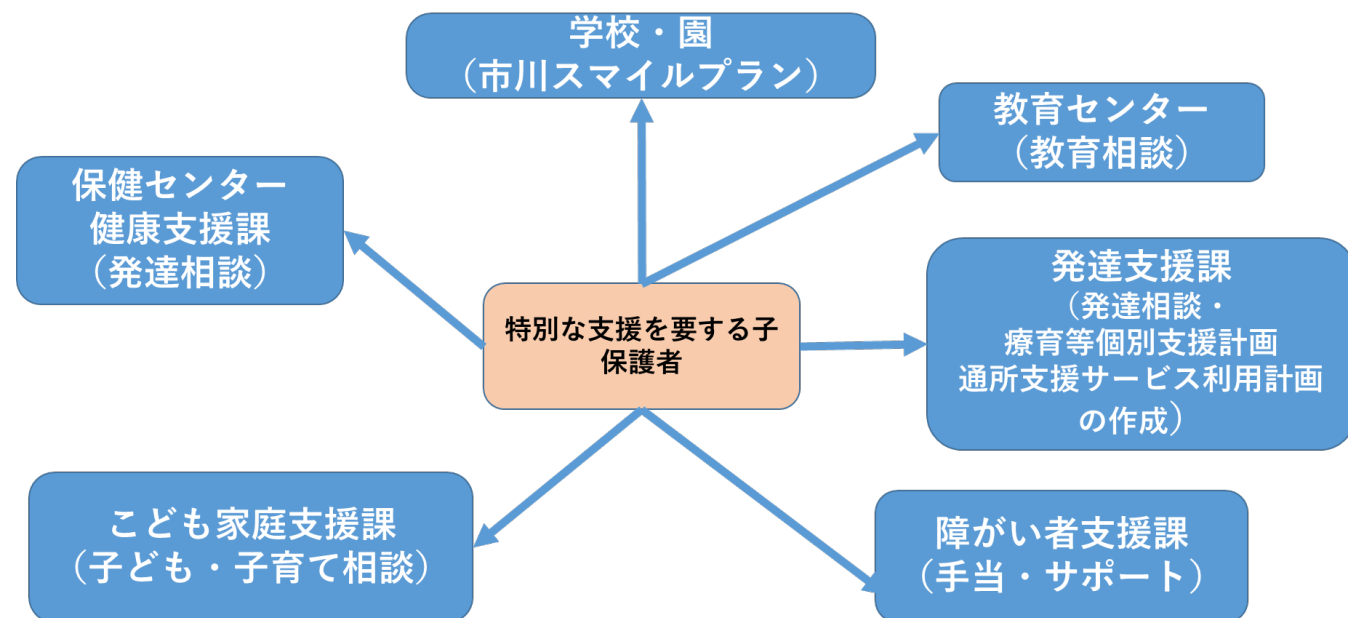
1. ライフステージ別の支援(現状)



保護者は「ライフサポートファイル」に自分で様々な支援計画を綴る

2. 保護者から見た支援(現状)

子どもと保護者にとって複雑かつ非効率な支援体制



3. 課題

○保護者は、発達支援課など様々な機関で受けてきた支援内容の記録を自分で管理する必要があり、関係部署で受けてきた必要な情報が園や学校に伝わらないこともある。

○保護者は、就園・就学時や進学時など、新たな相談機関等に行くたびに、子どもの状況や過去の支援について繰り返し説明しなければならない。

○園・学校、関係部署などの支援者側は、「一人一人のニーズ」に応じた支援をするために全体の情報の把握が必要である。

4. 子どもと保護者を中心に据えた支援に向けて

ワンストップで子どもと保護者を支援する体制の整備

